

福祉だより



北六甲台 & 上山口東の住宅街

ぬくもり

●発行/北六甲台地区社協 ●発行日/偶数月 ●編集/北六甲台地区社協広報部 ●配布エリア/北六甲台・上山口東

第108号
2019年12月19日

西宮市北六甲台地区
社会福祉協議会
会長 日高 昭夫



十一月一日から三日までの三日間、北六甲台コミュニティセンターと自治会館で文化祭が開催されました。恒例の力ラオケフェスティバルは、別枠で四日に開催となりました。自治会館A室には、各団体の活動を紹介するパネルや自治会員の作品が展示され、地区社協も各事業部ごとにパネルで活動紹介をしました。特に目を引いたのは、子育て支援部の可愛い動物の貼り絵で、協力員さんチエも折り込んだ魅力的なパネルでした。

活動をパネルで紹介

文化の秋！住民手作りの文化祭開催

北六甲台文化祭

十一月一日から三日までの三日間、北六甲台コミュニティセンターと自治会館で文化祭が開催されました。恒例の力ラオケフェスティバルは、別枠で四日に開催となりました。自治会館A室には、各団体の活動を紹介するパネルや自治会員の作品が展示され、地区社協も各事業部ごとにパネルで活動紹介をしました。特に目を引いたのは、子育て支援部の可愛い動物の貼り絵で、協力員さんチエも折り込んだ魅力的なパネルでした。

賑わった「ふれあい喫茶」

今年の「ふれあい喫茶」は、健康音楽「エメラルド」の演奏が華を添え、来場者はお茶を飲みながら文化の日を満喫されていました。



その他、一日には日高昭夫さんによる「旧・国鉄有馬線」の講座で充実した内容の文化祭でした。
(広報部 久慈薫)



十一月九日(土)、十日(日)の二日に渡り、上山口東自治会の文化祭が行われました。今年も秋桜会、キルトアイランド、書道教室、お花サークルと見ごたえのある作品が展示され、来場された方は制作者から作品の説明を受けながら、じっくりご覧になっていました。大きな作品は階段の壁一面に展示。そのスケールの大きさに、見る方は圧倒されていました。

(広報部 印南由起子)

見ごたえのある展示作品と演奏で心豊かに

上山口東文化祭



西宮山口アルキナリー二〇一九

「いくつかの発見、山口の郷」

十一月十七日の日曜日、山口地域活性化推進委員会主催の「西宮山口アルキナリー二〇一九」が開催されました。絶好の秋晴れのもと、



「丸山登山健脚コース」「丸山周遊散策コース」「有馬川緑道ファミリーコース」

ス」の三コースに五三〇人余りの参加者があり、当日お世話されたボランティアスタッフの方を入れると七〇〇名を超える一大イベントの集いでした。私もガイド役の日高会長や、小出副会長と共に、丸山登山健脚コースに挑みました。今まで何気なく歩き、慣れ親しんだ山口の郷にも、知らなかったこと、気づかなかったこと、見つけたことがたくさんありました。①山口の秋の自然(舞い落

ちる紅葉)(ドンゲリの実)(有馬川の流れと丸山ダム(音)②山口の歴史(丸山稻荷神社や金仙寺観音堂)(登り尾公園に続く軽便鉄道跡)(郷土資料館の数々の歴史資料)③当日参加された皆様の明るい笑顔、等々。



今年が八回目のこの催し物に、まだ参加されたことのない皆様、来年のオリンピックキヤーの秋には、是非一度ご参加下さい。「歩く秋 気づき見つけた 慣れの郷」
(研修部 竹田勝)

子ども達とママのハロウィン

十月二十五日(金)「ともだちつくり」のハロウィンパーティーがありました。

あいにくの雨で来場者数か不安でしたが六組の親子に来て頂きました。宝さがし、ボール入れ、ボーリングの三つの遊びのスタンプリングをしました。

宝さがしはブルーブルに入ってスタッフの作ったマスケットを探し、ボール入れはかわいい的中にボールを入れる、ボーリングはかわいいシールを貼ったペットボトルをならべてボールで倒す遊びです。子ども達はお母さんと一緒に楽しみなが



ら遊んでいたものでうれしく思いました。全部の遊びを回したら、最後におみやげをもらってうれしそうにいました。



「ともだちつくり」は毎月第四金曜日にやっています。おしゃべりするだけでも、子どもと一緒に遊ぶだけでもかまいません。いろいろな話しや遊びをしてみませんか？十二月はクリスマス会を開催します。十二月二十日(金)午前十時～十二時 ぜひ来て下さい。
(子育て支援部 高崎いずみ)

ふれあい交流会のお知らせ

日時 1月17日(金) 11時30分～
(バスの送迎あります)
会場 サンパレス六甲
対象 75歳以上の方
内容 落語とお食事交流

赤十字募金報告

12月7日(土) コープこうべ西宮北店で街頭募金を実施しました。
ご協力ありがとうございました。
募金 円

認知症サポーター養成講座

受講者参加の多彩な内容



福祉ネットと自治会共催の認知症サポーター養成講座が昨年に続き今年も開催されました。今年は、十一月二日の北六甲台文化祭二日目午後の開催となりました。

予想を上回る四十一名の受講者数で、一般住民の受講は昨年より十一名多く、文化祭中の開催の効果が窺えました。

今回の講師は同じ北六甲台在住のキャラバンメイトで有馬あんしんすこやかセンターのケアマネジャー・辻生子さんでした。前半はパワーポイント

による認知症の基礎知識の解説でした。冒頭、幾つかの事象についての認知症か老化かのクイズ形式の質問で和やかなスタートでした。後半は、受講者全員参加のワークシヨップです。事前に打合せ済みの地区社協役員や市社協地区担当四名が台本片手に三つの寸劇を披露します。「晩秋の公園で薄着でミカンを食べるおばあちゃん」と「近所さんのやりとり」「見えないものが見える姑さんとお嫁さんのやりとり」「道路の真ん中を歩いているおばあちゃん」と「近所さんのやりとり」です。



寸劇の後、参加者が三、四人のグループに分かれて意見交換しました。寸劇のどれかを選んで、自分ならどのように声掛けしたり対応をするかが話し合われました。意見交換の後、グループの発表が求められ、数グループの代表から意欲的な報告がありました。

啓発動画によるまとめがあり講座が終了しました。最後に、講座を受講された北六甲台自治会の馬場副会長から「認知症の地域ぐるみの対応の必要性を痛感しました」との閉会挨拶がありました。

「はでない」という意識の広がりでした。二〇二五年には、六十五歳以上の高齢者の五人に一人が認知症になると言われている。なる程、長寿をよしとする社会であるならば、みんなで認知症とうまく付き合っていくかねばならない時代が来たのだな!と思います。そう言う点で、受講者アンケートの中に書かれていた次の一文が深く心に残りました。「認知症の症状がとてつもなくわかったが、我が身におこった時の事を思うと、不安で仕方ない。若い人(息子や娘)にも聞いてほしい講座だった。」

第二回 福祉講座

「高齢化社会と認知症」

十一月十五日(金)、地域医療シリーズの第二弾として、有馬病院精神科医師・谷口将吾先生に講師をお願いし、「認知症とは何か」をテーマに、令和一年度第二回目の福祉講座を開催しました。



講座は、①我が国の高齢化状況と認知症の関係②認知症の症状の詳細と家族の対応③病院の役割、

有馬病院の提案等の内容でした。専門医の立場から豊富な経験に裏打ちされた具体的で分かり易い解説を約一時間半に渡りお聴かせ頂きました。講座後の質疑応答では受講者のみなさんから多く熱心なご質問を頂きました。



小地域福祉活動研修会参加

西宮市北部相談センターへ参加

十一月二十九日(金)北六甲台地区社協から三名が、西宮市社協主催の小地域福祉活動研修会へ参加しました。

参加者は、各地区社協(二九地区)七十名で、主催者から地域で孤立している方を拾い上げ、困りごとを相談出来る「西宮市くらし相談センター」つむぎが二〇一九年四月開設され、地域の支援機関(地域包括センター)・専門機関との連携による仕組みが出来たとの説明がありました。その相談事例として、五十代男性が脳出血治療後、リハビリ

リをして職場復帰したが、後遺症が残っていることにより職場の理解が得られず退職し、その後の生活が困窮した相談で、病気や障がいによる収入減や生活費への不安が増加しているとのことでした。しかしながら、地域でのつながりがなく孤立している方にどう対処するかが問題で、民生委員が

らの呼びかけ、地区ボランティアアコーディネーター、市社協が連携した対応が必要でした。「地域で気になること」というグループディスカッションでは、気軽に話せる風土づくりの大切さと、近所付き合いの中で民生委員につなげる活動をするということをグループのまとめをして研修会を終りました。

(広報部 小出晴浩)

草木染め体験学習

十一月七日(木)北六甲台小学校で草木染め学習の事前準備のため、材料を持込み調理室で煮出しを行いました。この行事は地区社協ボランティアセンターと婦人部の協力で計画されたもので、前日は久慈さんと私が準備をしました。材料は、コヒイ豆の粉・お茶の葉・みかんの皮・桜の葉等の他、生徒さんが持参した材料も含めて各テーブルの鍋で沸騰させ、その後

二〇分程度煮出しし準備終了しました。翌日は、ミョウバン液に浸し、加温処理する作業を予定していましたが、残念ながら私は都合で参加出来ませんでした。当日お手伝いされた方のお話では、マリーゴールドの花の黄色が鮮やかに出ていたとのことでした。生徒さんの笑顔が目につきます。

(広報部 小出晴浩)



地区運動会の報告



10月20日(日)北六甲台小学校で地区運動会が開催され、北六甲台地区社協も共催という形で応援することになり、日高会長と私が参加しました。

朝10時に小学校のグラウンドに集合して、各クラブ毎の作業分担に従い作業に取り掛かり、私はテントの運びだし、設営、グラウンド周りのロープはりをお手伝いしました。

12時に開会式が行われ、地区社協の日高会長も来賓として紹介され、ラジオ体操で体をほぐしました。競技の前に山口太鼓の会の25名による太鼓演奏が行われ、私は初めて聞いたので、そのパフォーマンスに胸がジーンとくるものがありました。競技はパン食い競争に始まり、早速に参加のお呼びがかかり、昔に戻って怪我をしないように走りました。

昨年までスポーツ21単独で開催されていましたが、自治会・青愛協・地区社協の協賛となり、少しは盛り上がったかなと思いました。

(広報部 小出晴浩)

